

《冬期に流行する感染症について》

～冬はインフルエンザ・感染性胃腸炎(ノロウイルス)の流行する時期です～

これらはウイルスに触れた手を介して感染が拡大することが多いため、今のうちから手洗い・うがいを習慣づけ、感染および拡大の予防に努めましょう。

インフルエンザ

- ※潜伏期間：1～3日
- ※流行時期：11月下旬～12月上旬頃
(1～3月頃がピーク)
- ※主な症状：38℃以上の高熱・全身の倦怠感・筋肉痛などの症状とともに、喉痛・咳などの呼吸器症状が現れます。
- ※予防法：流行前の12月末までに、予防接種を受けましょう。外出時はマスクを着用しましょう。



ノロウイルス

- ※潜伏期間：通常1～2日以内
 - ※流行時期：11月頃から発生件数が増加し、12～3月頃がピークとなる傾向 ※主な症状：突然の吐き気や嘔吐、下痢・腹痛が起こってくるのが特徴。症状は3日程度で軽快するが、体力の弱い高齢者などは、下痢による脱水や合併症により重症化する場合があります。軽い風邪のような症状だけで済む場合や、自覚症状のない場合もあります。
 - ※予防法：二枚貝は中心部85℃以上で1分間以上十分加熱して食べる。(ノロウイルスに汚染された二枚貝を生や加熱不足で食べた場合に発症します。) 罹患者の排泄物や嘔吐物の中にはウイルスが存在しているため、それらの適切な処理と十分な手洗いが感染拡大予防の重要ポイントとなります。
- 適切な処理方法とは・・・
- ①便や嘔吐物はペーパータオルなどで取り除き、ビニール袋に入れて口を縛って破棄する。
 - ②残った便や嘔吐物の上にペーパータオルをかぶせ、市販の塩素系消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム液)を約50～60倍(0.1%濃度)に薄めたものをかけて十分に浸し、汚染場所を広げないようによく拭く。*ウイルスは乾燥すると空気中に漂い、経口感染する場合があります。嘔吐物や糞便を塩素系消毒薬を使って速やかに処理し、乾燥させないことが重要です。

※引用文献：感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省) www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/norovirus

※所沢ロイヤルの丘では冬の感染症対策として、職員のマスク着用・消毒液の設置・バスタオルによる湿度管理などを行っております。

感染予防月間になりますと、外出・外泊が原則禁止となり、食品の持込も禁止となりますのでご注意ください。(詳細は別途ご案内)

また正面玄関の出入口・各階のエレベーターホールに消毒液(ウィルステラ)・次亜塩素酸ナトリウムスプレーを設置しておりますので、ご面会の際には手指および足裏を消毒してからお進みください。また、風邪症状のある場合は面会を控えていただきますようお願い致します。

文責：感染予防対策委員会 委員長 近藤 郁子

職員紹介



7月10日に入社し、2階に配属されました佐藤龍子と申します。名前は日本で一番多い「佐藤」ですので、学生の頃から社会人になってからも、クラスや病棟には同じ「佐藤」が2～3人はいました。そのため名で呼ばれることも多く「たつこ」「ろんこ」「りゅうこ」と勝手に呼ばれていましたが、本当は「りょうこ」です。

今までは、病院で脳卒中や脊髄損傷のリハビリ看護やハンセン病の方々の看護に関わってきました。施設は初めてですのでスタッフ皆様のご指導を頂きながら、ご利用者様が早く生活できますよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

2階 看護師 佐藤 龍子



6月下旬よりパート勤務で4階に配属になりました、諸橋香奈江と申します。以前は、介護職としてデイサービスに勤めておりました。今年の3月に、准看護学校を卒業し、看護師として勤めるのは初めての職場となります。戸惑うことや分からない事などありますが、スタッフの方々に丁寧にご指導を頂きながら日々学ばせて頂いております。少しでも早く1人前となり、利用者様らしい生活のサポートが出来るよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

4階 看護師 諸橋 香奈江



8月下旬に入社しました。ケアワーカーの田中佑一です。高校を卒業してすぐに療養型の病院で3年半ほど看護助手として勤務していました。その後は、もう一度介護の仕事をしたと思いながらなかなか機会に恵まれず、別の業種の仕事をしましたが、この度、また介護職に就くことができました。約10年のブランクはありますし老健は初めてですが、スタッフの方々の温かい指導の下、早く1人前になれるよう努力していきたくと思います。よろしくお願い致します。

4階 介護職員 田中 佑一

1階 満月半端ないって!!

秋も近づき、みなさんは秋で何を想像しますか？秋と言えば「十五夜お月様見て跳ねる♪」と言うくらい月がきれいに見える時期です。と言うことで、大きな満月とススキが、風にそよんでいるかのような立体感を出した作品を全体作品で作りました。

満月は白い画用紙を5センチ角に切り、それを5枚重ねて黄色のセロファンで包んだものを並べて貼り、さらに上から黄色のセロファンを貼ることで一体感を出してみました。ススキは新聞を棒状に丸め、中にワイヤーを入れたものに色を染めて裂いた和紙を巻いたものです。



一つ一つはとても簡単ですが作業工程が多く、利用者様1人1人楽しめるものになったと思います。これからも沢山のご利用者様が、作品作りに参加して頂けるような作品を考えていきたいと思っています。

デイ 介護職員 穂苅 薫

3階 流しそうめん

7月25日に、3階の夏の恒例行事として「流しそうめん」を行いました。

2本の樋（とい）の両側に、利用者さんがスタンバイ。流れてくるそうめんを見て、皆さんステキな笑顔を見せてくれました。他に肉団子や缶詰みかんなどの変わり種も流し、楽しく、美味しく召し上がっていただきました。

今年は非常に暑くて大変な夏でしたが、今日に限っては、ご利用者の皆様にとって涼しい1日となったのではないかと思います。

3階 介護職員 徳田 由紀子



5階 すいかわり

5階の8月の行事は、「スイカ割り」を行いました。どの利用者様もたいへん楽しんでもらった様子でしたが、それよりもスイカ割りを行った後、皆様にスイカを食べていただいた時の笑顔の方が、数倍素敵な表情をしておられました。意味としては少し違うかも知れませんが、花より団子と言った感じでしょうか！



毎月、行事の内容を決めるときには、利用者様がどれだけ笑顔になれるか、季節を感じられるのかなど、色々と考え悩んで決めています。騒がしいくらい楽しく盛り上げたい5階の職員としては、今後も笑顔と笑い声の絶えない行事を企画していこうと思っています。

5階 介護職員 穂本 高浩

2階 スイカわり

2階では8月のレク行事として、スイカ割りを行いました。ご利用者様一人ひとり、本物のスイカを両手に抱え記念撮影を行いました。その際に、「わぁ、重い!」「とても大きなスイカね」等、笑顔が見られました。



そして、スイカ割り本番は、希望されたご利用者様数名が挑戦しました。周りの方々も熱く「頑張れ!」と声援を送る中、3人目で見事にスイカを真っ二つに割ることができました。スイカが割れた音と同時に、皆様から大歓声がおきました。普段、口にしないスイカに「美味しい」と笑顔で召し上がり、なかには食べ過ぎという程、食べられた方もいました。今後も季節を通した行事を行い、ご利用者様と一緒に楽しんで過ごしていきたいと思っています。



2階 介護職員 福地 智恵子

4階 夏の行事

8月25日の丘祭りで、4階では「ワニワニパニック」というワニをモチーフにしたゲームを模擬店で行いました。ワニは牛乳パックで職員が手作りしたものです。ワニが出現したら、ピコピコハンマーでお客さんに叩いてもらうゲームです。ご利用者様からは、「ワニがかわいいね。」「叩くのが難しそう。」と、様々な感想をいただきました。ゲームをやり終えると、「楽しかった。」と言って頂けました。



来年も、ご利用者の皆様楽しんでくれる出しものを用意したいと思います。

4階 介護職員 神山 玲奈

6階 丘祭りの花火

今年の丘祭りは8月25日（日）に開催され、沢山の方々が来場されました。今年の夏は猛暑でしたが、天候に恵まれフィナーレの花火をお見せする事ができました。去年は途中から雨が降り出してしまい、花火が行えずとても残念な年でした。今年は、綺麗なナイヤガラの瀧や噴出し花火を沢山の方が見ることができ、たいへん喜ばれていました。ご入所されている利用者の皆様も花火を見ることができ、喜ばれていました。



6階 介護職員 和田 愛

ロイヤルの丘「喫茶店」開店

今年も、7月22日1階フロアにおいて一日限定で、ロイヤルの丘の「喫茶店」が開店されました。ご利用者様同士の交流の場を提供し、普段と違う雰囲気を楽しんで頂くことを目的として企画しました。参加されたご利用者様は、好きな飲み物と美味しいおやつを食べながら、いつもはなかなか顔を合わせることの少ない他階のご利用者様と、おしゃべりに華を咲かせていらっしゃいました。ご利用者様同士だけでなく、職員としても久しぶりにお会いできた他階のご利用者様がいらしたりするので、職員にとってもとても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

飾りやテーブルクロスは夏をイメージし、メニューも夏らしさを演出しました。バニラアイス・チョコレートアイス・カキ氷の他、ホットケーキ・チーズケーキ・チョコレートケーキ・あんみつ・水羊羹・お煎餅等から選んでいただきました。来年の開催もぜひ楽しみに。

3階 介護職員 宇津木 美樹代

